

みえグリーンイノベーション構想の概要

※三重県の地域特性、産業特性を生かして、今後の成長産業として期待されている「環境・エネルギー関連分野」の育成・集積を図ることをねらいとした構想

構想の柱

I. 新エネルギー等を活用した産業振興

・新エネルギー等を活用した産業振興

市町等地域コミュニティ単位において地域資源や地域特性を生かした太陽光発電、風力発電、木質バイオマス利用など、新エネルギー導入促進に取り組むとともに、それらを活用したまちづくり、地域づくりと一体的な取組を通じて、産業振興を推進します。

- ・木曾岬干拓地メガソーラー事業・立梅用水小水力発電プロジェクト
- ・次世代エネルギーを活用した産業振興・地域活性化

・地域特性を生かした新たなビジネスモデルの創出

産学官連携により新たなビジネスモデルや社会モデルを発掘していくためのアイデアや知恵を集結させ、地域フィールドでプロジェクト化を図り、環境・エネルギー技術を活用したまちづくりに取り組み、スマートコミュニティなど「みえ発の地域ビジネスモデル」創出を目指します。

- ・市街地型モデル(桑名市:桑名プロジェクト検討会)
- ・沿岸部型モデル(鳥羽市:スマートアイランドプロジェクト)
- ・中山間部型モデル(熊野市:熊野プロジェクト検討会)

・省エネ・蓄エネ技術を活用した新事業の展開

企業や大学などが有する省エネ技術をカスタマイズした新たな用途開発のほか、太陽光や風力など一次エネルギーを効率的に蓄える蓄エネ技術を活用した商品開発など、省エネ・蓄エネ技術を活用した新事業の展開を促進します。

- ・生産プロセスでの省エネを実現するIH(誘導過熱)技術を活用した樹脂加工(射出成形)や食品加工(加熱蒸気)への応用
- ・長時間の鮮度保持と省エネを実現するナノアイス(微細粒径のシャーベット状氷)を活用した高鮮度輸配送ネットワークの開発
- ・新エネルギーにより発電した電力をリチウム二次電池などに効率よく蓄電する技術開発
- ・風力発電などの電力を水素に変換し、燃料電池などに利用する技術の研究開発

II. 県域を越えた広域連携による新たな産業創生

新たな産業の創生及び地域活性化を図るため、バイオマスを活用したエネルギーの創出、三重県のものづくり技術を生かした一次産業の高付加価値化に資する産業連携など、県域を越えた広域的な取組を推進します。

- ・バイオマスを活用した次世代エネルギー技術の共同開発
- ・抽出・発酵などの高度加工技術を活用した高付加価値素材の開発
- ・爆砕などの技術を活用した高付加価値飼料の開発

III. バイオリファイナリー促進による新たな産業創生

環境・エネルギー・食糧問題などの社会的問題を根底から解決(パラダイム転換)するプロジェクトを検討するため、高度部材・素材を強みとする四日市コンビナート企業などを中心とする「バイオリファイナリー研究会(仮称)」を設立し、バイオリファイナリーに着目した取組を推進します。

<事例>

- ・バイオマス由来の合成ゴムの研究開発
- ・バイオエタノール製造の研究開発
- ・広域的な連携によるバイオガスシステムの実証

具体的な取組方向

① 推進体制の整備

「環境・エネルギー関連分野」と安全・安心のまちづくりや地域活性化など地域の諸課題とを結びつけ、「幸福実感の向上に資するライフスタイル」への転換を目指しつつ、全国規模で事業者のビジネスチャンスを生み出すため、産学官連携による「みえスマートライフ推進協議会」を運営し、3部会のもと、その取組を推進します。

- ・グリーンイノベーション推進部会(環境・エネルギー関連産業の育成・集積)
- ・地域モデル検討部会(環境・エネルギー技術の活用によるまちづくり)
- ・新エネルギー導入部会(地域資源を生かした新エネルギー導入促進)

② ネットワークづくり

知恵やノウハウを結集する産学官の交流・連携(ヒューマン・マッチング)の場を設け、プロジェクト化に向けたネットワークづくりを行います。このネットワークの中で、三重県の地域特性・産業特性を生かし、県域を越えた広域連携をも視野に入れたオープンイノベーションを推進・加速させていきます。このような取組を通して、キーパーソンの繋がりによる新しいビジネスの創出や、若手の参加による人材育成など、人材・技術を次世代に橋渡しするネットワークづくりにつなげていきます。

- ・新たなビジネス創出を目指すネットワークづくり
- ・広域的な交流・連携を目指すネットワークづくり
- ・新たなビジネス創出につながる人材育成を目指すネットワークづくり

③ ひとつづくり

「ものづくり」は、「ひとつづくり」に強く深くつながるものであるため、行政が産業界と教育機関のハブとなって、産業界への人材供給を行うとともに、ベンチャー企業等への創業支援を含めた環境・エネルギー関連分野の人材育成を推進します。

- ・ベンチャー企業を創出するための大企業OB、海外、大学等からの人材誘致(マネジメントスキルを有する司令塔など)
- ・地域資源の活用や地域課題に対応した新事業を行う創業者等を対象とした創業支援
- ・企業と大学の研究開発拠点との連携による人材発掘と育成(E-Learning遠隔講義や企業との連携によるインターンシップ)
- ・大企業と中小企業との人材交流による人材育成のしかけづくり
- ・大学、県工業研究所、AMICなどとの共同研究による人材育成

④ 研究開発の促進

環境・エネルギー関連産業の育成・集積を牽引するため、三重県の地域特性・産業特性を踏まえたモデル的な研究開発プロジェクトを推進します。

また、工業研究所では、企業と大学とをつなぐハブ機能を強化し、AMICでは、国内外の大学等研究機関との連携を進め、企業との結節点としての役割を高めます。

- ・企業が抱える技術面での諸課題に対し、可能性調査(FS調査)、共同研究、技術開発補助金などをパッケージにした支援
- ・AMICを活用した産学官連携による研究開発プロジェクトのコーディネートなどによる企業の研究開発支援
- ・工業研究所の依頼試験や共同研究を行うことによる企業の実用化に向けた支援

⑥ 事業化促進

環境・エネルギー関連産業の集積を図るため、事業化において障壁となっている規制等がある場合は、積極的に総合特区の活用(実証試験)に取り組むとともに、規制・制度改革について、国に提言するなど事業化促進に取り組みます。

⑤ 販路拡大・市場拡大

市場や顧客が求める商品・サービスを開発していく取組(マーケティング)を強化するとともに、販路拡大・市場拡大の機会創出を支援します。

- ・出前商談会を活用した新たな取引先の開拓支援等
- ・企業間の商談創出を重視した産業展の開催
- ・地域資源を活用したアジア圏における新たな販路開拓等の連携プロジェクトの検討
- ・企業、工業研究所とAMICなどが連携した情報発信の検討

⑦ 設備投資及び立地の促進

環境・エネルギー関連産業(研究開発施設・製造施設)や、地域経済への波及効果が見込める関連するサービス産業などの県内立地を支援します。